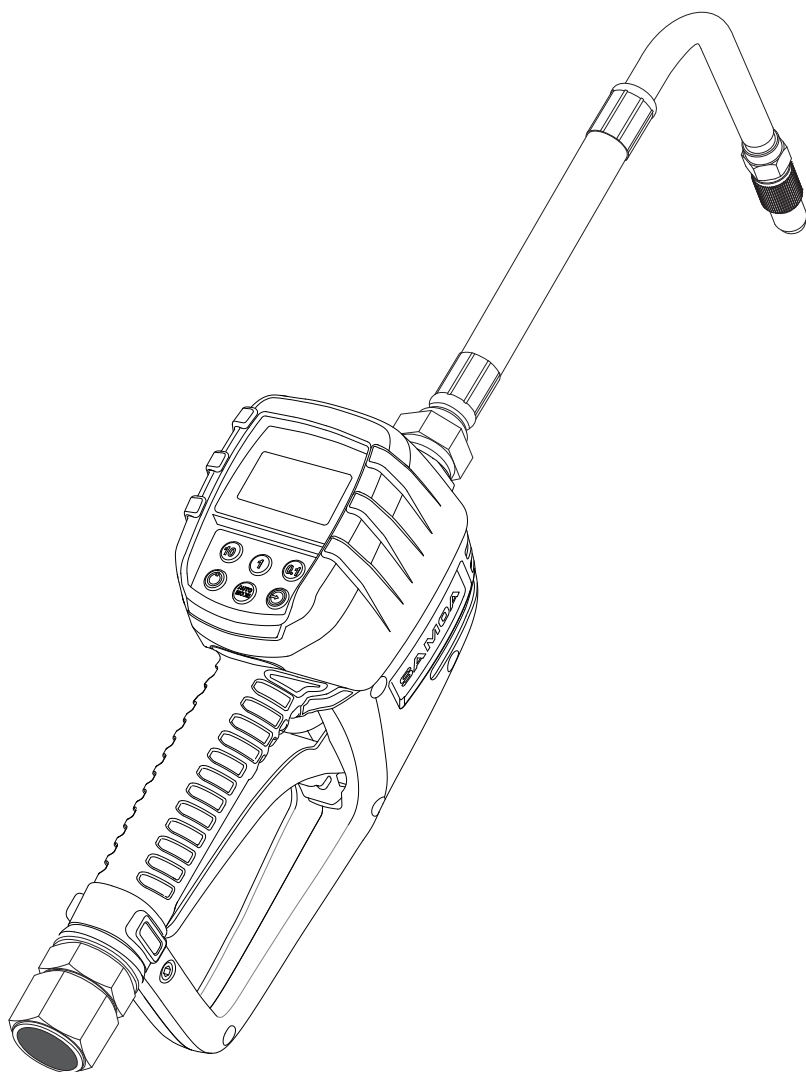


Digital Oil Meter プリセット式

デジタルオイルガン



取扱説明書

型式

DM-P10

DM-P10-FS-(3/4)

DM-P10-SS-(3/4)

はじめに

安全上のご注意	P.2
各部の名称と仕様	P.4

使用する

取付方法	P.5
ご使用方法	P.6
設定方法	P.11
メンテナンス	P.21

困った時は

故障と処置	P.24
保証とアフターサービス	P.25

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は人とその周囲の危害・損害を防ぐため、ご使用にあたっての注意事項や基本的な使い方を説明しています。

本書に記載されている以外の製品用途や使用方法により生じた不具合にはいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

- ・本書の内容を最後までよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ご使用前に P.2 「安全上のご注意」 を必ずお読みください。
- ・この取扱説明書はいつでも使用できるよう大切に保管してください。

安全上のご注意

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています



この表示の注意事項を守らずに誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うおそれがあります。



この表示の注意事項を守らずに誤った取り扱いをすると、軽傷を負ったり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

行為を指示する記号



指示を守る

本製品を正しく安全にご使用いただくために

●安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

製品全般の注意事項が記載されています。

●故障したら使わない

すぐに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に修理をご依頼ください。

●万一異常が起きたら

例)

- ・煙が出たとき
- ・内部に異物が入ったとき
- ・異常な音・においがしたとき
- ・製品を落とすなどして、製品や付属品が破損したとき

①供給を切る

バルブを閉じたり、電源を切ったりするなど、供給を停止させる

②使用を中止

③修理・点検を依頼

お買い上げの販売代理店に依頼する

異常が解決されるまでむやみに製品を触らないでください。

本書の内容を最後までよく読み、本製品を正しく安全にご使用ください。
また、読み終わった後はいつでもご覧いただけるよう大切に保管してください。

警告



指示を守る

子供や幼児の届かない場所に設置する

事故やけがの原因となります。



禁止

本来の目的以外の使用はしない

本製品はオイルを供給するためのオイルガンです。
目的以外の使用は故障、破損の原因となります。



禁止

屋外で使用しない

さび、腐食などで火災や故障、異常動作の原因となることがあります。本製品は屋内仕様です。



禁止

直射日光の当たる場所または熱器具の近くで使用・保管しない

本体の変形・発火の原因となります。



禁止

爆発・火災の危険がある場所で使用しない

上記のような場所で使用すると、火災や故障、破損の原因となることがあります。



禁止

油煙・湯気・湿気・水気・ほこりの多い場所や高温になる場所に置かない

上記のような場所に置くと、火災や故障、破損の原因となることがあります。



指示を守る

適正オイルを使用する

製品仕様に合った適正なオイルを使用してください。
吐出不良や故障の原因となることがあります。



分解禁止

修理技術者以外による分解・修理・改造はしない

むやみに本体を分解したり改造したりすると、故障や異常動作の原因となることがあります。

点検・修理はお買い上げの販売代理店にご依頼ください。



禁止

本体に衝撃を与えない

ぶつけたり、落下させたりしないでください。ボタンや液晶画面の破損、先端ノズルの変形によってオイル漏れの原因となることがあります。



禁止

本体を引きずらない

製品の破損や変形、ホース等の接続不具合の原因となることがあります。



禁止

本体に水やオイルをかけない

本製品の電子部は耐油・耐水構造になっておりません。

安全上のご注意

はじめに

使用する

困ったときは

各部の名称と仕様

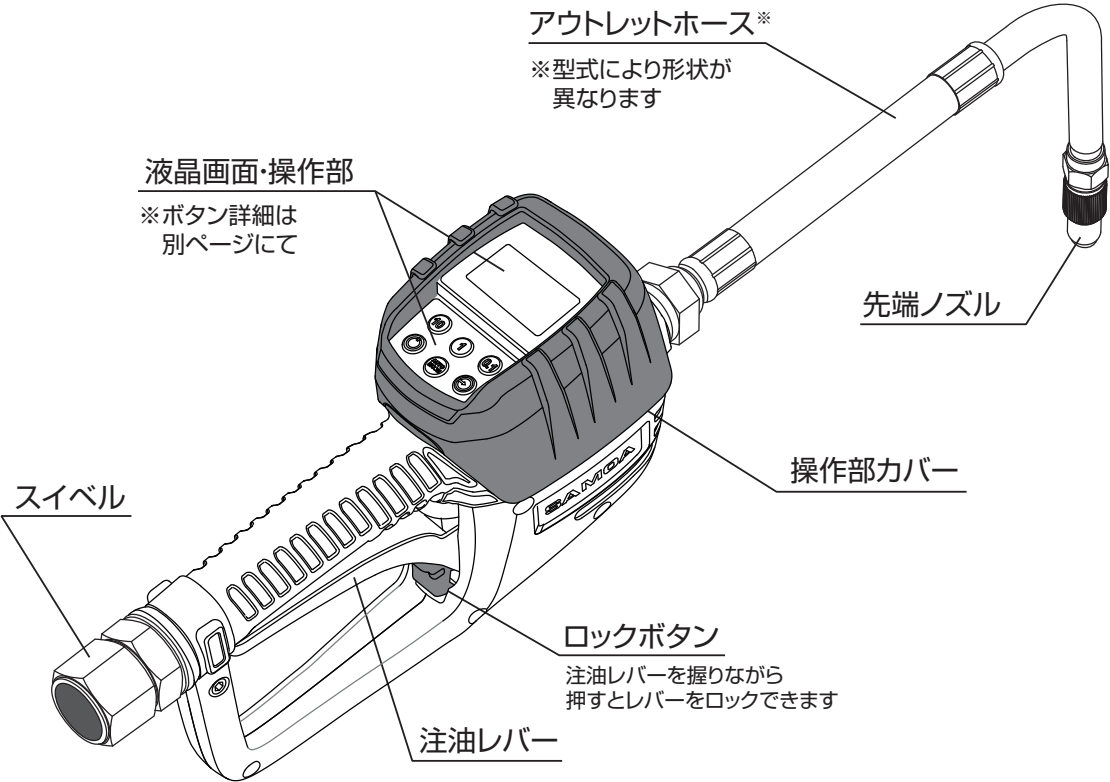
箱の中に同梱品（本体・付属品）がすべて揃っているか確認してください。

各部の名称と役割

はじめに

使用する

困ったときは

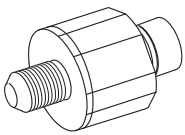


●仕様

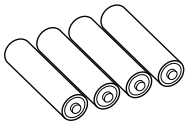
製品名	デジタルオイルガン		
型式	DM-P10	DM-P10-FS	DM-P10-SS
接続サイズ (フィルター部)	G1/2 オスネジオスシートまたは G3/8 オスネジオスシート		
適正オイル	モーターオイル・ギアオイル・ 自動変速機用オイル・油圧油		
常用圧力	10MPa		
使用温度範囲	- 10℃～+ 50℃		
流量範囲	毎分 1 ～ 30L		
粘度 (オイル)	2000mPa・S (10℃)		
精度 (オイル)	± 0.5%		
精度 (クーラント)	± 1%		
計量範囲	0.00 ～ 999.99L		
使用環境	屋内		
電源	単 3 アルカリ乾電池 × 4本		
環境保護対応	RoHS 準拠		
全長	655mm (オイルフィルター込み)	719mm (オイルフィルター込み)	669mm (オイルフィルター込み)
本体重量	2.3kg	2.6kg	2.45kg

●付属品

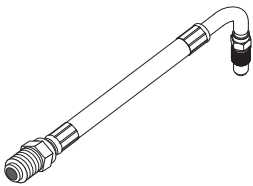
付属品に不備があった場合はただちに
お買い上げの販売代理店にご連絡ください。



オイルフィルター
1個



アルカリ乾電池
4 個
※出荷時に本体内に
入っています



アウトレットホース
1個
※形状は仕様により
異なります

取付方法

この項は本体の取り付けおよび、配管等への接続を行う
販売代理店または施工業者の方を対象にしています。

警告



爆発・火災の危険がある場所に取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や故障、破損の原因となることがあります。



水に濡れる可能性のある場所に取り付けない

雨などの水に濡れる場所に取り付けると、火災や故障の原因となることがあります。



壁面にぶつからないところに取り付ける

指示を守る

壁面にぶつかった衝撃により、ボタンや液晶画面の破損、先端ノズルの変形によってオイル漏れの原因となることがあります。

取付の前に

取り付ける前に本体の仕様と損傷の有無、付属品の欠品の有無を確認してください

● 設置に必要な道具

- ・ モンキーレンチ
(300 mm / 250mm 各1本)

● 準備

1. 配管の清掃（フラッシング）をする
本体内部に異物が混入し、オイル漏れや故障の原因となります。
2. オイルフィルターの本体側ネジにシールテープが巻かれていることを確認する
オイル漏れの原因となります。

● 移設・交換作業の場合

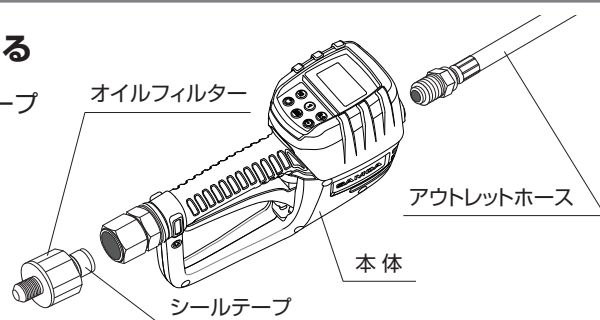
- ・ 安全のため一次側接続バルブを閉じ、配管内の残圧を抜いてから作業をはじめてください。けがや漏洩事故のおそれがあります。

取付の手順

本製品の使用環境および設置環境が製品仕様に適合するか確認してください

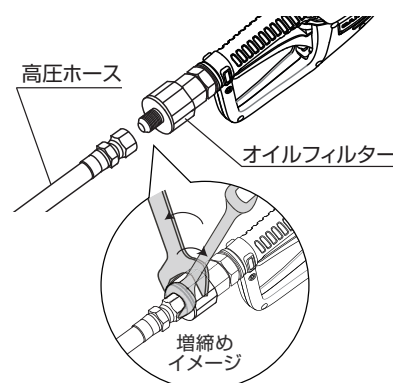
1. アウトレットホース・オイルフィルターを接続する

アウトレットホース・オイルフィルターそれぞれにシールテープが巻かれていることを確認し、本体と接続してください。



2. ホースと接続し、動作確認をする

高圧ホースの先端金具とオイルフィルターを接続し、使用方法に従って試運転を行い、動作に問題がないか確認してください。



接続後必ず増締めをしてください。

ホースの先端金具は、オイルフィルターの規格に合ったものをご使用ください。

取付に関してご不明な点のある場合は、お買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

取付方法

はじめに

使用する

困ったときは

ご使用方法

⚠ 注意

本体やノズルの破損・落下・故障のおそれがあります。下記のような使用は絶対に避けてください。

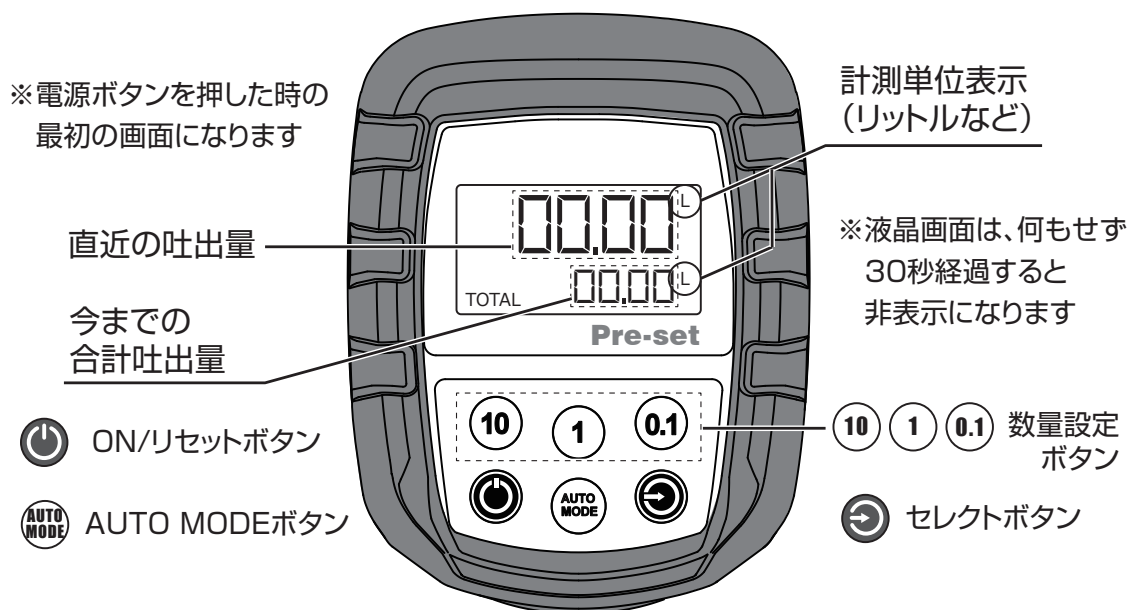
- ・ホースを急激に曲げない。
- ・本体を急激に引っ張らない。
- ・本体を高温・高熱の物に近づけない。
- ・本体を工具や設備等で挟まない。
- ・本体を車両や重量物の下敷きしない。
- ・本体に水やオイル、床洗浄剤、塗装ミストなどを付着させない。
- ・本体に衝撃を与えない。

使用方法などでご不明な点のある場合は、使用を中止してお買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

また、本体に異常が見られる場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に点検・修理をご依頼ください。

ご使用方法

操作部分の表示とボタン



液晶画面は、30 秒間何も操作しないでいると、自動的に電源が切られ、スリープモードになります。再度使用する際は、ON/リセットボタン (⏻) を押してください。上記の液晶画面が表示されます。

電池が無い場合は、「メンテナンス 電池の交換方法 (P.22)」にあるように、バッテリー切れの表示になります。その場合は電池交換をしてから、再度 ON/リセットボタン (⏻) を押してください。

はじめに

使用する

困ったときは

操作方法 吐出ロックの解除

本製品の使用時に必ず行ってください

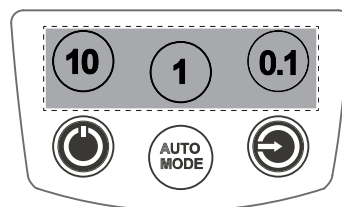
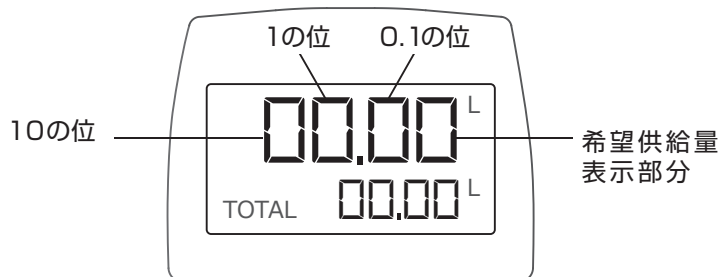
本製品は安全のため、通常時はオイル吐出できない仕様になっています。オイルを注ぐときは、以下の手順に従って、本体のロックを解除してください。

※ロック解除の前に、レバーを引かないでください。故障の原因になります。

1. 吐出量を設定する

数量設定ボタン（**10** **1** **0.1**）を押して、供給量を設定してください。

右図の希望供給量の数値が、10の位、1の位、0.1の位で変化します。



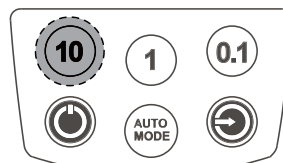
いずれかを
軽く押す

左から10単位、1単位、0.1単位で設定できます。10単位、1単位はボタンを押し続けると、対応する桁がリセットされ、0から再設定できます。0.1単位は、ボタンを押し続けると、対応する桁が1に戻ります。

正確な量がわからない場合は、想定より多めの量に設定してください。吐出終了後、実際に使った量が保存されます。



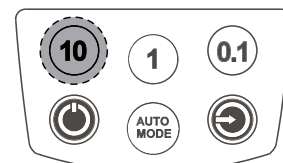
例：10 ボタンを長押しすると、対応する桁が消える



長押しする



例：1 から設定、または対応する桁の数値を消したままにできる



軽く押す

ご使用方法

はじめに

使用する

困ったときは

ご使用方法

操作方法 吐出ロックの解除

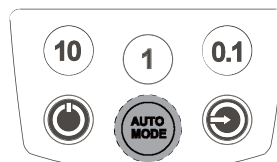
本製品の使用時に必ず行ってください

2. AUTO MODE ボタンを押して、ロックを外す

設定終了後、AUTO MODE ボタン () を押してください。カチッと音が鳴ります。

ディスプレイ左上に” AUTO ” が表示され、ディスプレイ上段の数字がゼロになります。

ディスプレイ右下に 1 で設定した吐出量が表示されます。これで本体のロックが解除され、吐出準備が完了できます。



押すと本体から「カチッ」と音がします

軽く押す

左上に AUTO が表示される



左下の TOTAL が消える

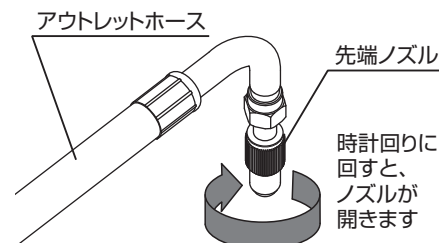
設定量を修正したい場合は、AUTO MODE ボタンを再度押して、数秒お待ちください。1 の画面に戻ります。

操作方法 オイル吐出

1. ロック解除を確認後、先端ノズルを開ける

アウトレットホースの先端ノズルを手で右にまわし、全開にしてください。

先端ノズルは使用後のオイルの垂れ防止用です。必ずノズルを全開してからオイルを吐出させてください。オイルの吐出不良や、ノズルに圧力がかかることによってオイル漏れの原因になることがあります。



2. レバーを握ってオイルを注ぐ

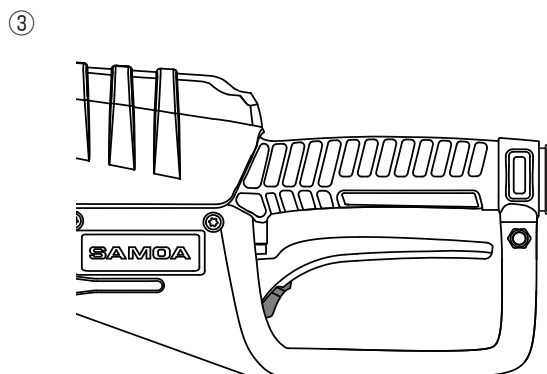
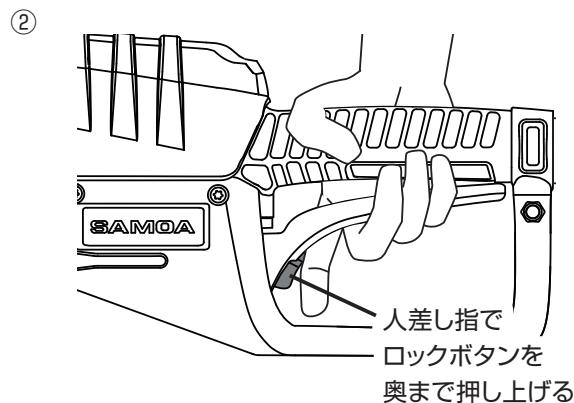
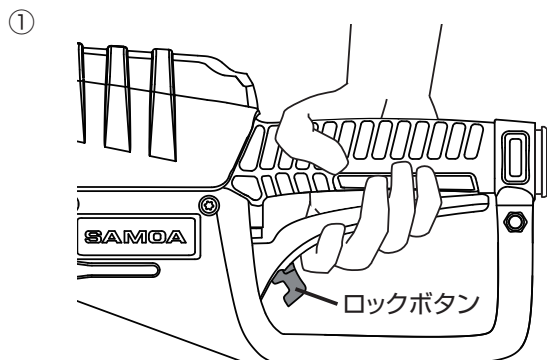
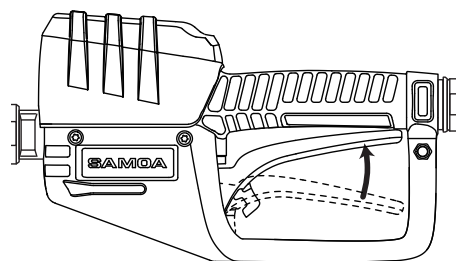
0.00 ～ 999.99（油量最大積算）まで計量します。

吐出量が 0.00 になっていることを確認し、オイルガンのレバーを握ってオイルを注ぎます。

手動で操作することもできますが、レバーを引いたまま固定することもできます。

レバーの固定方法：

レバーを引いたまま、持ち手の人差し指でロックボタンを押し上げきってから、手を放して固定してください。



押し上げたロックボタンを保持したまま、人差し指を最後に離すとレバーが固定される

ご使用方法

操作方法 オイル吐出

設定量を吐出後、ディスプレイ下段に -finish- と表示され、吐出が終わります。



設定量より前に吐出をやめたい場合

AUTO MODE ボタン () を押してください。
ディスプレイ右下に -STOP- と表示され、吐出が終わります。
ディスプレイ右上にそれまでの吐出量が表示され、その後本体に保存されます。



これまでの
吐出量

ディスプレイ下段に STOP と
表示され、吐出が止まる

ご
使用
方法

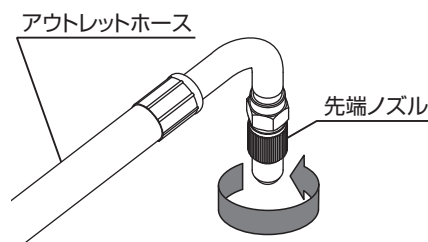
は
じ
め
に

使用
する

困
っ
た
と
き
は

3. レバーを元に戻し、先端ノズルを締める

レバー固定を解除、または握っていたレバーを放してください。
その後、アウトレットホースの先端ノズルを手で左にまわし、
しっかりと締めてください。
締めた後に、再度 AUTO MODE ボタン () を押して、
レバーを握らないでください。
ノズルに圧力がかかることによってオイル漏れの原因になることが
あります。



- ・ノズルの締め込みが硬い場合は、ノズルを全開にしてアウトレットホース内のオイルを抜き、再度ノズルを締めてください。無理に締め込むとオイル漏れや破損の原因となります。
- ・少量のオイルがノズル先端に残ってしまった場合や、ノズルを閉めたまま圧力をかけてしまった場合はウエス等で余分なオイルを拭き取ってください。

設定方法

設定項目 吐出量の複数設定・変更方法

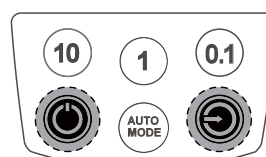
よく使う設定量を保存し、素早く呼び出すことが出来ます。最大 10 個まで保存可能です。

- **起動** 使用されていないときは自動的にスリープ状態となり、液晶画面は非表示になっています。

ON / リセットボタン (⏻) を押してスリープを解除してください。

ON / リセットボタン (⏻) とセレクトボタン (⌂) を同時に長押しして、セットアップメニューを表示してください。「Presets (プリセット)」メニューが画面に表示されます。

すべての設定画面の最初の表示がこの「Presets (プリセット)」メニューになります



同時長押し

設定方法

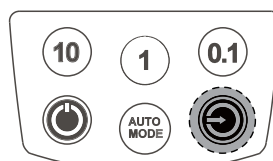
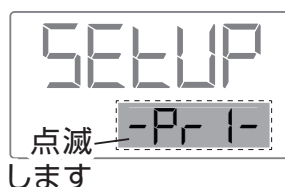
はじめに

使用する

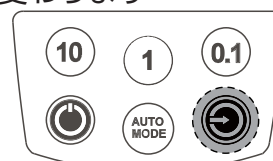
困ったときは

1. セレクトボタンを長押しした後、設定したいプリセット番号を選ぶ

セレクトボタン (⌂) を長押しすると、ディスプレイ下段の -Pr O- という数字が点滅します。その後、もう一度セレクトボタンを押して、設定したい番号を選んでください。



長押し



軽く押して選択

2. 数量ボタンを押して、希望の設定量を入力後、確定させる

選択しているプリセット番号が点滅したままなのを確認して、数量設定ボタン (10 1 0.1) を使用して、ディスプレイ右上の設定量を入力します。

数量設定ボタンの操作については、P.7「操作方法 吐出ロックの解除」の(1. 吐出量を設定する)に従ってください。

その後、ON / リセットボタン (⏻) で確定すると、セットアップ画面に戻ります。

設定方法

設定項目 設定吐出量の呼び出し

P.9 にて設定した吐出量を呼び出し、オイルを吐出します。

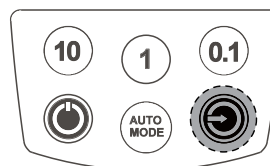
※設定量を切り替える前に、レバーを引かないでください。故障の原因になります。

1. セレクトボタンを押し、希望の設定を選ぶ

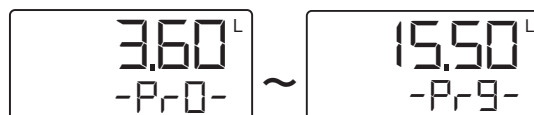
ON/リセットボタン (⏻) を押して、本体を起動してください。

セレクトボタン (⌚) を軽く押すと、ディスプレイ右下に
-Pr 1- と表示されます。

再度セレクトボタンを押していくと、Pr0 ~ Pr9 まで、
保存された設定量が順番に表示され、
Pr9 まで表示してセレクトボタンを押すと、Pr1 に戻ります。



軽く押して選択



セレクトボタンを繰り返し押すと、Pr 0 ~ Pr 9 まで
表示されます

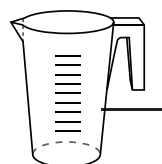
2. AUTO MODE ボタンを押し、吐出を始める

AUTO MODE ボタン (Ⓜ) を押し、吐出準備完了後、
P.9 ~ P.10 の「操作方法 オイル吐出」に従って操作してください。

設定項目 自動キャリブレーション

実際に吐出した量と、本体の数値が違っていた場合、較正（キャリブレーション）ができます。

※較正用に、液体量がわかる容器をご用意してから操作してください。



オイル用途に対応した計量カップやビーカーなどをご用意ください。

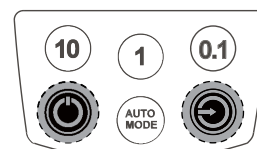
● 起動

使用されていないときは自動的にスリープ状態となり、液晶画面は非表示になっています。

ON / リセットボタン (⏻) を押してスリープを解除してください。

ON / リセットボタン (⏻) とセレクトボタン (⌂) を同時に長押しして、セットアップメニューを表示してください。「Presets (プリセット)」メニューが画面に表示されます。

すべての設定画面の最初の表示がこの「Presets (プリセット)」メニューになります



同時長押し

設定方法

はじめに

使用する

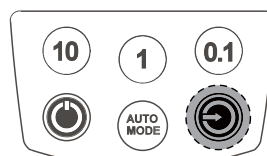
困ったときは

1. "CALibr" と表示されるまでセレクトボタンを押す

セレクトボタン (⌂) を押し、右図の表示にします。



この表示が出るまでセレクトボタンを押す



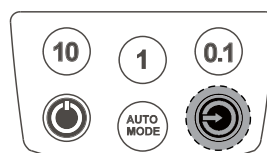
軽く押す

2. セレクトボタンを長押しして、"Press Auto" と表示させる

セレクトボタン (⌂) を長押しすると、右図のように"Press Auto"という表示に変わります。



この表示が出るまでセレクトボタンを長押し



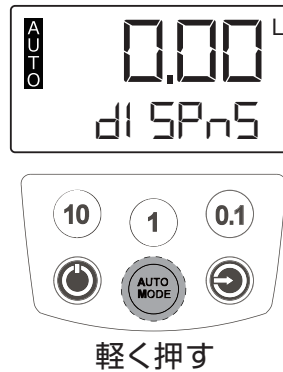
長押し

設定方法

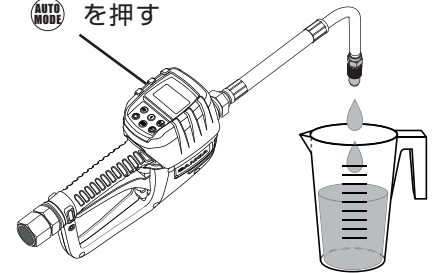
設定項目 自動キャリブレーション

3. AUTO MODE ボタンを押して、較正容器にオイルを吐出する

AUTO MODE ボタン () を押すと、右図のような表示になり、吐出準備が完了します。本体のレバーを握り、用意していた較正容器にオイルを吐出してください。
較正容器の目的量を吐出後、再度 AUTO MODE ボタンを押します。



容器のメモリに合わせて吐出し、終了したら再度  を押す



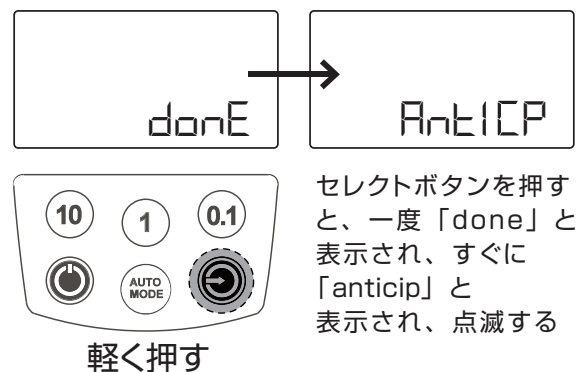
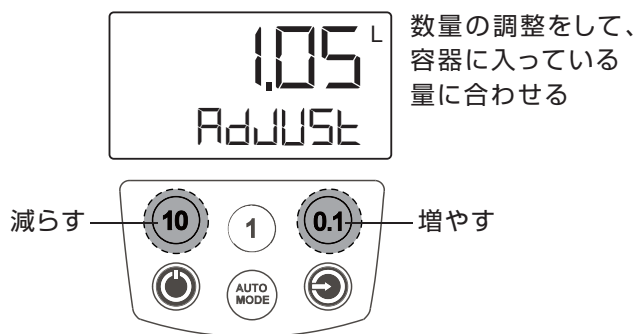
4. 較正容器に注いだ量とディスプレイの表示を一致させる

AUTO MODE ボタンを押すと右図のように表示され、"Adjust" が点滅します。
先に容器に注いだ量を確認し、 と  ボタンを使って、容器に吐出した量と、ディスプレイに表示されている吐出量を一致させてください。
セレクトボタン () を押すと、"done" と表示され、直後に "anticip" と表示されます。

例：実際に吐出したのが 1.05 リットルの場合



本体が吐出したと「認識した」量と、実際に吐出した量に誤差が生じている状態 (0.05 リットル違う)



5. ON/ リセットボタンを押して、メニューに戻る

ON/ リセットボタン () を押して、メインメニューに戻ると、数値が自動的に保存されます。

設定項目 手動キャリブレーション

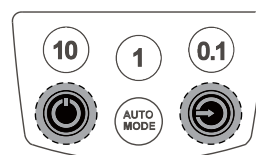
先に本体の数値と実際の吐出量が違うとわかる場合、吐出前に手動で較正（キャリブレーション）することができます。

- **起動** 使用されていないときは自動的にスリープ状態となり、液晶画面は非表示になっています。

ON / リセットボタン (⏻) を押してスリープを解除してください。

ON / リセットボタン (⏻) とセレクトボタン (⌂) を同時に長押しして、セットアップメニューを表示してください。「Presets（プリセット）」メニューが画面に表示されます。

すべての設定画面の最初の表示がこの「Presets（プリセット）」メニューになります



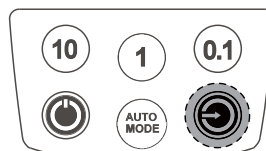
同時長押し

1. "C-FACtr" と表示されるまでセレクトボタンを押す

セレクトボタン (⌂) を押し、右図の表示にします。



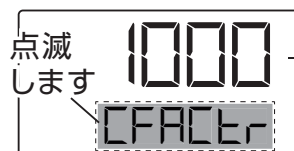
この表示が出るまでセレクトボタンを押す



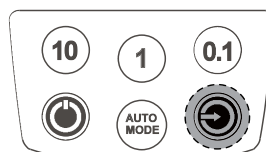
軽く押す

2. セレクトボタンを長押しする

セレクトボタン (⌂) を長押しすると、右図のように "C-FACtr" が点滅したまま、表示上段が変化して、1000 と表示されます。



この表示が出るまでセレクトボタンを長押し



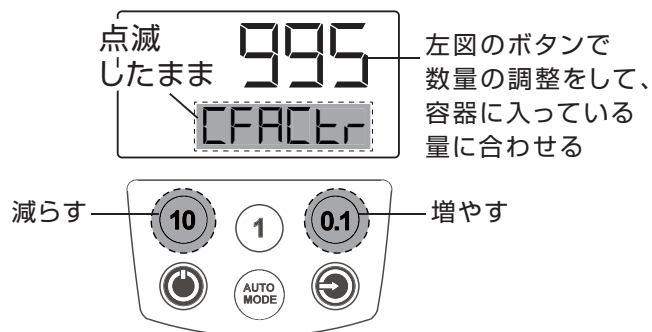
長押し

設定方法

設定項目 手動キャリブレーション

3. 数値を算出して設定、確定する

下記の計算方法で算出した数値を、右図のように入力してください。ON/リセットボタン（）で確定後、プリセットメニューに戻ります。



校正に必要な数値の計算方法：

$$\text{数値} = \text{本体で表示された数値} \div \text{実際に吐出された量} \times 1000$$

例：本体の表示が 10.00L、実際の吐出量が 10.05L の場合

$$10.00 \div 10.05 \times 1000 = 995 \text{ (995.0248756) 小数点以下切り捨て}$$

設定項目 キャリブレーション時のバルブ設定

液体流量が多くなる場合、高圧力になるため、バルブを閉じるタイミングが遅れて、本製品の設定吐出量よりもわずかに多く吐出される場合があります。本内容は、バルブを閉じるタイミングを設定するものです。

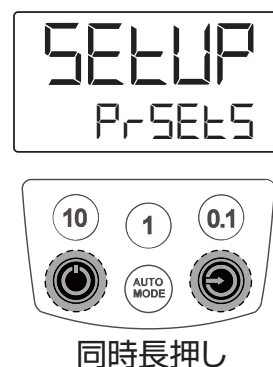
※通常使用時は、この設定はしないでください。

● **起動** 使用されていないときは自動的にスリープ状態となり、液晶画面は非表示になっています。

ON / リセットボタン (⏻) を押してスリープを解除してください。

ON / リセットボタン (⏻) とセレクトボタン (⌚) を同時に長押しして、セットアップメニューを表示してください。「Presets (プリセット)」メニューが画面に表示されます。

すべての設定画面の最初の表示がこの「Presets (プリセット)」メニューになります



設定方法

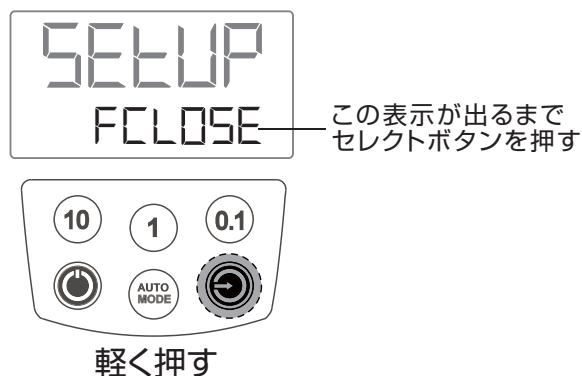
はじめに

使用する

困ったときは

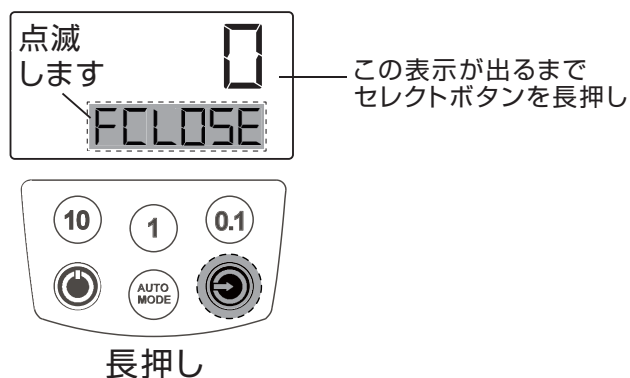
1. "FCLOSE" と表示されるまでセレクトボタンを押す

セレクトボタン (⌚) を押し、右図の表示にします。



2. セレクトボタンを長押しする

セレクトボタン (⌚) を長押しすると、右図のように"FCLOSE" が点滅し、現在の値が表示されます。



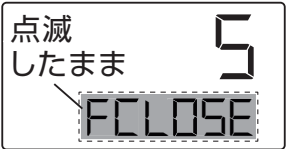
設定方法

設定項目 キャリブレーション時のバルブ設定

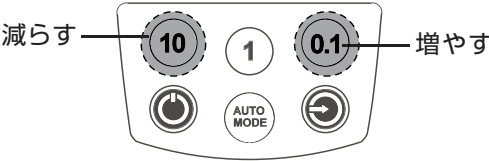
3. 吐出量の誤差に合わせて数値設定をする

以下の表を目安に、数値設定してください。
その後、ON/リセットボタン（）で確定後、
メインメニューに戻ります。

※必要に応じて、都度測定、調整してください。



数値設定をして、
容器に入っている
量に合わせる



●バルブ設定の数値

吐出のズレ（リットル）	FCLOSE 設定の入力数値
0.01	1
0.02	2
0.03	3
0.04	4
0.05	5
0.06	6
0.07	7

設定方法

はじめに

使用する

困ったときは

設定項目 単位設定

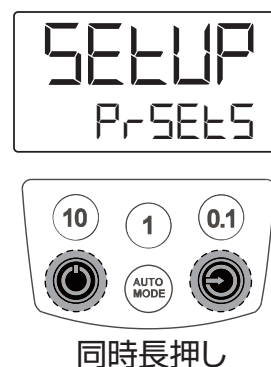
リットルやガロンなど、液体量の単位を設定することができます。

- **起動** 使用されていないときは自動的にスリープ状態となり、液晶画面は非表示になっています。

ON / リセットボタン (⏻) を押してスリープを解除してください。

ON / リセットボタン (⏻) とセレクトボタン (⌂) を同時に長押しして、セットアップメニューを表示してください。「Presets (プリセット)」メニューが画面に表示されます。

すべての設定画面の最初の表示がこの「Presets (プリセット)」メニューになります



設定方法

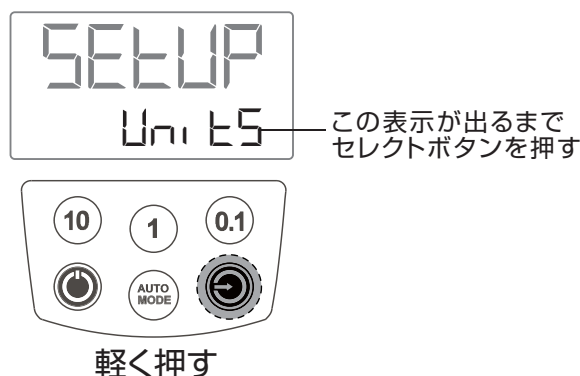
はじめに

使用する

困ったときは

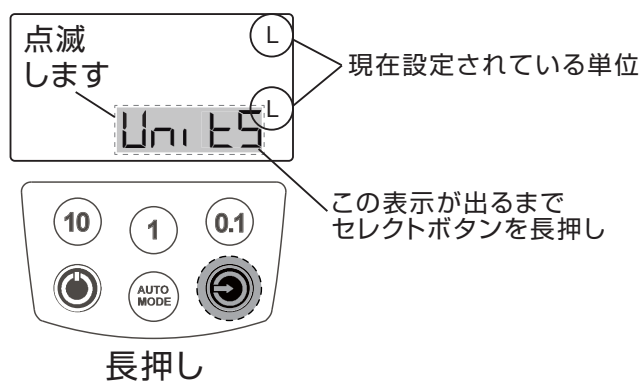
1. "UNITS" と表示されるまでセレクトボタンを押す

セレクトボタン (⌂) を押し、右図の表示にします。



2. セレクトボタンを長押しする

セレクトボタン (⌂) を長押しすると、右図のように "Units" が点滅し、現在設定されている単位が表示されます。



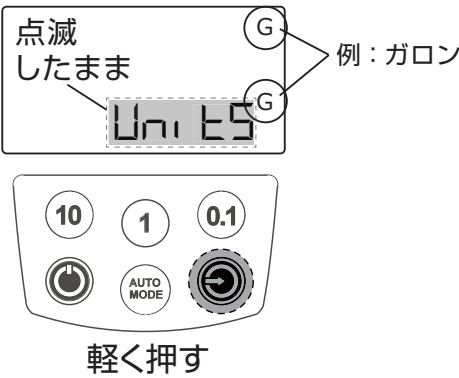
設定方法

設定項目 単位設定

3. セレクトボタンで希望の単位を選ぶ

以下の表から単位を選び、設定してください。
その後、ON/リセットボタン（）で確定後、
メインメニューに戻ります。

• 単位は上下表示セットでの変更のみ可能です。
個別での変更はできません。



● 設定できる単位

表示上段	L リットル	P パイント	Q クォート	G ガロン
表示下段	L リットル	G ガロン	G ガロン	G ガロン

設定方法

はじめに

使用する

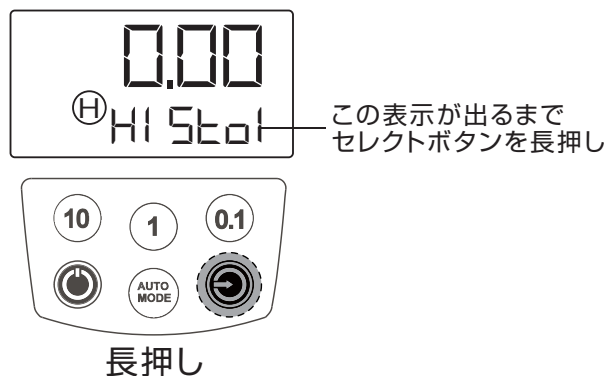
困ったときは

履歴表示

直近 5 回分の供給履歴を表示させることができます。

1. セレクトボタンを長押しして、履歴メニューを呼び出す

セレクトボタン () を長押しして、右図の表示にします。



2. 5 回分の履歴を順番に確認する

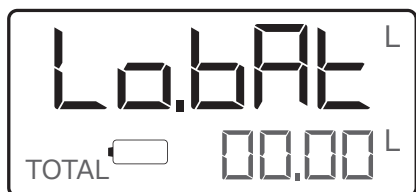
セレクトボタン () を押すと、Histo1 ~ Histo5 まで、直近 5 回分の履歴が順番に確認できます。
ON/リセットボタン () を押すと、元の画面に戻ります。



メンテナンス

電池の交換方法

六角レンチをご用意ください



本体は単 3 アルカリ乾電池 4 本で動いています。

電圧が 1.3V 以下になると、左図のようにバッテリーの残量低下が表示されます。

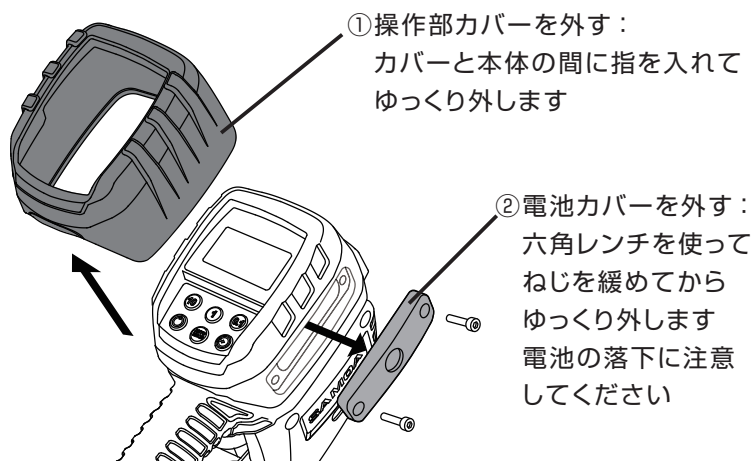
表示を確認したら速やかに新しい電池と交換してください。

●用意するもの・・・六角レンチ 3.0mm

1. 外側の操作部カバーと本体右側面の電池カバーをはずす

最初に操作部カバーを手で外すと、
本体右側面に六角ねじで電池カバーが
固定されています。
六角レンチを使用して、電池カバーを
はずしてください。

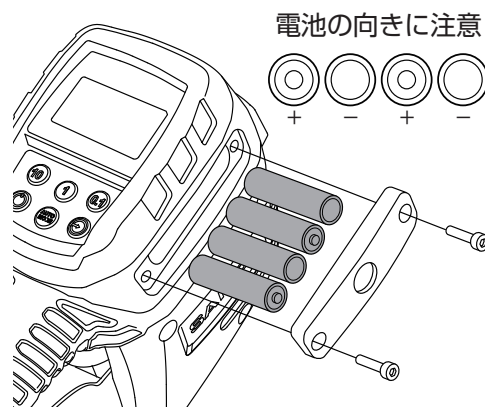
• 電池カバーを外す際は、電池の落下に
注意してください。



2. 向きに注意して、新しい電池を入れる

+-を右図のとおりにして、新しい電池を挿入します。
その後、六角ねじで電池カバーを固定してください。

• 電池の向きが間違っていると電源が入りません。



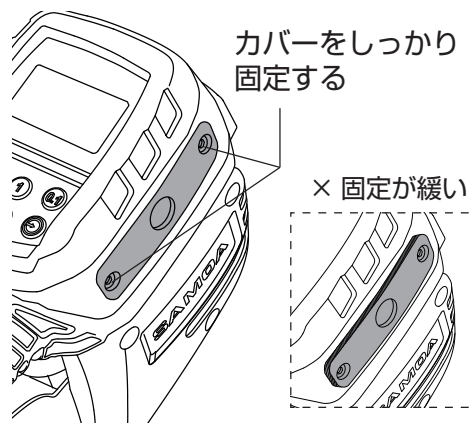
電池の交換方法

3. 電池カバーを固定し、操作部製カバーをかぶせる

電池カバーを固定後、ON/リセットボタン（）を押して、通電と動作を確認してください。

動作確認ができてから、操作部カバーをかぶせます。

- 電池カバーはしっかり固定してください。固定が緩いとバッテリー残量低下表示のままになってしまいます。



メンテナンス

はじめに

使用する

困ったときは

オイルフィルターの清掃方法

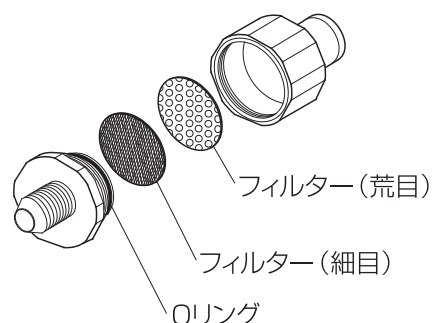
1. 新油用バルブを閉じ、残圧を抜く

清掃するオイルラインの新油用バルブを閉じ、AUTO MODE ボタン（）を押してからオイルガン内の残圧を抜いてください。

- 供給オイルの加圧ポンプを止めてから作業してください。
- オイルの吹き出しや飛散を防ぐため、必ず実施してください。

2. 内部フィルターを取り出し、清掃する

2種類の内部フィルターを取り出し、洗いやエア等で清掃してください。



3. 内部フィルターを取り付ける

Oリングに少量のオイルを付け、傷つけないようにオイルフィルターを締めてください。

その後ホースと再度接続し、新油用バルブを開いて動作に問題がないか確認してください。

メンテナンス

点検・お手入れ

安全に末永くお使いいただくために、日頃の点検とお手入れが大切です。
作業の前後に、定期的な点検とお手入れの励行をお願いいたします。

●作業前点検

点検箇所	点検方法	内容
接続箇所	目視	変形・破損・摩耗はないか
	目視	オイル漏れはないか
	操作／目視	接続は適正か
ホース	目視	破損・断裂はないか

●作業後点検

点検箇所	点検方法	内容
接続箇所	目視	変形・破損・摩耗はないか
	目視	オイル漏れはないか
ホース	目視	破損・断裂はないか

消耗部品について

長期間使用されますと消耗部品の経年劣化や使用環境による磨耗により、オイル漏れや破損の原因となることがあります。定期的な修理・交換の実施をお願いいたします。

本体付属のアウトレットホースなどのホース類
オイルフィルター内の O リング・内部フィルター

修理・交換についてはお買い上げの販売代理店にご相談ください。

故障と処置

不具合が見られる場合はもう一度本書をよく読んでご確認ください。

故障と処置

不具合が見られる場合はもう一度本書をよく読んでご確認ください

症状	原因	処置
オイルが出ない	先端ノズルが締まっている	先端ノズルを開ける
	ストップバルブが閉じている	ストップバルブを開く
	AUTO MODE になっていない	AUTO MODE ボタンを押す
	オイルガンまでオイルが圧送されていない	ポンプが動作しているか確認する 供給元のタンクを確認する
AUTO MODE なのに オイルが出ない	AUTO MODE ボタンと同時に レバーを引いている	AUTO MODE ボタンを押して、 表示が変わった後にレバーを引く
オイルの吐出力が弱い	ポンプの設定が適切でない	ポンプの設定を確認する
	オイルフィルターにゴミが詰まっている	オイルフィルターを清掃する（参照：P.23）
オイルフィルターから オイルが漏れている	オイルフィルターがゆるんでいる	オイルフィルターを締めなおす
本体内部からオイルが 漏れている	O リングが摩耗している	O リングの交換 販売代理店にご相談ください
液晶画面が正しく 表示されない	基板が破損している	販売代理店にご相談ください
液晶画面が起動しない	電池が消耗している	電池を交換する（参照：P.22）
	電池の向きを間違えている	電池の向きを入れ替える
	基板が破損している	販売代理店にご相談ください
メーターの数値が 正しく表示されない	設定値が狂っている	設定を見直す（参照：P.12 ～ 17）
	流量が多すぎる / 少なすぎる	設定を見直す（参照：P.12 ～ 17）
	粘度が高すぎる / 低すぎる	設定を見直す（参照：P.12 ～ 17）
先端ノズルから オイルが垂れる	先端ノズルが締まっていない	先端ノズルを締める
	先端ノズルの摩耗・故障	先端ノズルの交換 販売代理店にご相談ください

改善がみられない場合はお買い上げの販売代理店にご相談ください。

故障と処置

はじめに

使用する

困ったときは

保証とアフターサービス

保証規定

取扱説明書・本体警告ラベル等の注意書きに従って、正常な状態で保証期間内（納入後 1 年以内）に故障した場合には、弊社の責任において無償にて部品の手直し・修理・取り換え・部品交換を行わせていただきます。

ただし次の場合に該当する故障は保証しておりません。

- 使用上の誤り・保守点検・保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷
- 製品の動作機構に悪影響をおよぼす変更（改造）が加えられた場合または、それが原因で発生した故障および損傷
- 消耗部品が損傷し、取り換えを要する場合
- 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合
- 弊社または弊社の販売代理店以外の方による分解修理が行われた場合、それが原因で発生した故障および損傷
- 設置に原因がある故障および損傷（取付不良による落下、さび・腐食・水などによる故障は保証しておりません）
- 指定以外の流体を流すなど、流体の汚れや不純物の混入が原因で発生した故障および損傷
- 製品仕様以外のご使用が原因で発生した故障および損傷
- 火災・地震・風水害・その他天災・地変等外部に要因がある故障および損傷
- 保証請求手続きが不備の場合（型式または製造番号の連絡がない場合など）
- その他、合理的事由から弊社が保証対象外と判断した場合

上記規定に基づき、不具合が発生した場合にはお買い上げの販売代理店へご連絡ください。

なお、保証の可否は誠に勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。

アフターサービス

調子が悪いときは	まずは取扱説明書内 P.24「故障と処置」をご覧ください。
それでも調子が悪いときは	型式・製造番号・購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売代理店にご相談ください。
保証期間中の修理について	製品保証規定の記載内容に基づいて修理いたします。 お買い上げの販売代理店にご相談ください。
保証期間後の修理について	有償修理いたします。 お買い上げの販売代理店にご相談ください。
アフターサービスについての詳細	その他ご不明な点は、お買い上げの販売代理店にお問い合わせください。

型式	
製造番号（SER.No）	
購入日	年 月 日
購入先	



各ソーシャルメディアより、三協リールのニュースや製品情報などを定期的に配信しております。



FB,IG,TW:@triensjapan / YouTube:trienstube

〔販売代理店または施工業者様へのお願い〕

この取扱説明書はお客様へ必ずお渡しください。

製造元

株式会社 三協リール

〒263-0002

千葉県千葉市稲毛区山王町 279-5

TEL : 043-421-5551 FAX : 043-421-5553

e-mail : info@triens.jp http://www.triens.jp

販売元

改良のため予告なく仕様などを変更することがあります。ご了承ください。

2025.6

(c)2021 SANKYO REELS,INC.